

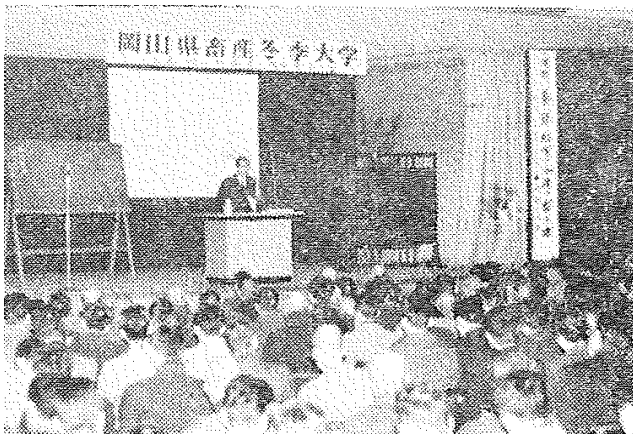
ちくさんニュース

家畜人工授精講習会を実施

県畜産課では2月3日から12日までの10日間、家畜改良増殖法に基づき、県酪農試験場において家畜人工授精講習会を実施した。

受講者は16名で講習会修了者に対し、生殖器解剖、精子生理、胎生遺伝関係法規など11科目の試験を実施した。この結果、全員が好成績で合格した。このほか2月26日からは県立酪農大学校で人工授精講習会が開かれており、28名が受講しておる。なお試験は3月9日、10日の両日にわたって行われる。

岡山県畜産冬季大学一盛会裡に終了



盛況の冬季大学会場

2月の9日から12日までの4日間、岡山県畜産冬季大学が山陽新聞社7階講堂において、岡山県、岡山県畜産会の主催、関係団体多数の後援により盛大に開催されました。

この冬季大学は毎年開かれ、一般から多大の好評を博しておるものであって、今年も要望の強かった4講師（福島豊一、三橋堯、毛利忠男、木村唯一）を招き、たいへん有益な講演がされていた。

聴講者の悪天候にもかかわらず和牛、酪農、養豚、養鶏の4部門を合せて2,500人も多数が詰めかけて熱心に耳をかたむけていた。

特に養豚、養鶏の聴講者はたいへん熱心であり、講演終了後も講師をかこんで時間のたつのも忘れ、また県北から雪のなかを園路岡山まで聴講にきた熱

心な聴講者であって、主催者もこの講演会が成功したのを喜んでおった。

養鶏協会の講演会開かる

養鶏講演会が岡山県養鶏協会の主催で、2月18日に笠岡市公民館で、また翌19日には岡山県農業会館で開かれた。

講師は農林中央金庫岡山支所調査役福田次男氏、県大阪経済事務所農林主査竹内秀雄氏、県養鶏試験場業務第二課長川崎晃氏の三氏で、演題は、福田氏の「金融面から見たこれからの養鶏」竹内氏の「阪神市場における岡山鶏卵」また川崎氏の試験研究報告が行われ、盛会裡に終了した。

なお、3月11日には津山市模範店会館で講演会が行われる。

酪農専任技術員の研修を行う

県畜産課は2月24日から28日にわたり、酪農経営改善計画樹立市町村に設置している酪農指導専任技術員を対象に二班にわけて研修会を行った。

津山市の酪農試験場内の研修会場には46名の技術員が集まり、2日間にわたって出口畜産課長の講義のほか、県畜産課関係係長および図師酪農試験場長、関係課長の講義が終日行われ、最後に邑久郡長船町の牧野勉氏の体験発表があつて研修会を終った。

蜜蜂の蜜源割当会議開く

県畜産課では昭和39年度の蜜源割当会議が2月24日、26日、28日の3日間にわたって県庁会議室で行われた。この会議は、県内の蜜源の適正な配分を行うためのもので、12人の委員を委嘱し、協議を重ね年間の転飼割当計画を作成した。対象養蜂家は県内56人、県外からは、10人で遠くは大阪、長野等から蜜源を求めて転飼にくることになっている。この転飼を行うには、養蜂振興法に基づく県蜜蜂転飼取

締条例による許可の申請を受けなければならない。

第5回畜産経営診断事業成果発表大会

昭和38年度の畜産経営診断事業成果発表大会が3月5日、県庁9階ホールにおいて開かれた。指導員と濃密指定農家が一組となり、県下各地区を代表して計8組が出場し、主催者の挨拶のあと各組が発表にたち、指導員からは地区の状況、指導の方針、指導の成果、今後の方針の発表があり、農家からは経営状態が発表された。

審査はあらかじめ提出された経営成果の発表を書類審査し、この書類審査と発表を合わせて6人の審査員により慎重に審査が行われた。その結果、高梁地区代表の指導員赤木博（湯野農協）農家紙谷幸男（湯野養豚組合）組が最優秀賞を獲得した。優秀賞3組、優良賞4組の方の氏名は下表の通りです。

なお、最優秀賞になった赤木・紙谷組は3月18日、19日に四国松山市で行われる中四国ブロック大会に岡山県を代表して出場することになっている。

優良賞				優秀賞			最優秀賞	順位
酪農	養鶏	酪農	酪農	養鶏	酪農	肥和 育牛	養豚	部門
有上房郡有漢部	美真庭郡落合町 川養鶏組合	栗英田郡伴東町 井農協酪農部	大久米郡中央町 垺和酪農組合	吉加茂養鶏研究 会	北邑久郡長船 部酪農振興会	中勝田郡奈義 島西肥育組合	湯川上郡備中 野養豚組合	対象地区及び 対象グループ名
経営診断 F・M率から みた	経営診断から みた養鶏 の問題	酪農 経営指導と 我家の	指導の急所 とグループ 活動	善経診事業が もたらした我 町の構造改 善事業	酪農経営診 断事業と集 団活動につ いて	経営診断事 業をかえり みて	湯野地区の 養豚経営に ついて	発表題目
野松	山森	横本	北森	植	小	豊福	濃密農家	指導員
田井	木本	林城	山本	学田	村山	福永	紙谷	赤木
広	利和	宏	精	英孝	豊勝	直孝	幸男	博
治茂	男義	勝道	昇之	男義	正己	之雄		氏名